

鶴ヶ谷の家

■宮城県仙台市 Nさん宅

佐々木文彦



端正な切妻の外観。真壁を表す軸組と白壁のコントラストが、ある懐かしさ感じさせる



1階和室の様子。土間を介して庭へとつながる



南側に配した、インナーテラスを持つリビング。庭は建て替えにあたって細心の注意で保存された。落とし込み板工法は木材の総量が多く、密度のある空間が感じられる

敷地は仙台市宮城野区鶴ヶ谷の、閑静な住宅地に位置しており、南側は歩道を含めると22メートルもある広い道路に面した、陽当たりの良い一角にある。小学生1人と共働きの夫婦、将来同居予定の親を含めた家族に、これからの穏やかな時間・生活を受け止めるための建て替えが計画された。

住まい手からの要望は大きく2つあり、「親や自分たちの老後に対応した生活が可能な、ゆったりとしたユニバーサルデザインの家」と、「無垢の木と漆喰などの自然素材による、清々しく、明るく、暖かく、落ち着けてほっとできる家」であった。

そこで、アプローチのスロープを含め、廊下や水まわりも車イスで移動可能な、ゆったりしたモジュールで構成するプランを意図した。玄関は、客間兼、親の間である和室前と通じるサンルーム的な広い土間とし、簡単な接客をもできる多目的な空間とした。動線的にも、炊事をしながら洗濯などの作業が楽なよう、外物置付きのキッチン・洗面脱衣・浴室などの水まわりを北側にまとめ、連続するダイニング・リビングも必要に応じて閉じたり、一体空間にできる回遊プランとした。吹き抜けとインナーテラスを持つ明るいリビングからは、建て替え以前から手入れのされた庭木越しに道路側の櫛並木を眺めながらも、2台分の駐車スペースの境に設けた板塀によって、外部からの視線が遮断できるようにした。

2階は、家族の書斎兼休憩スペースとしてのファミリールームから、ロフトのある夫婦と子どもの部屋に行ける配置である。構造的には、地域材であるスギの木を主に、4寸角の柱の間に1寸板を落とし込み、耐力壁として補強された落とし込み板工法を採用。自然素材である杉皮が主成分の断熱材・フォレストボードで、床・壁・屋根を囲った。柱・梁などの構造材がほとんど現しになる、作り手の腕が問われる設計に、今回、施工者はキチンと応えてくれた。感謝したい。

自然素材の維持管理には、経年変化に沿った適切な手入れが必要となる。住まい手自身が慈しみながら家の素材と関わり、理解しながら自然と愛着がわき、家を長生きさせることにつながれば、と願っている。

(文/佐々木 文彦)



玄関から入ると土間を通り和室にたどりつく。伝統的な空間構成

撮影 / アド・フォート 魚住一夫

PROFILE

ささき ふみひこ
 1956年 宮城県桃生郡北上町生まれ
 1978年 早稲田大学専門学校建築科 卒業
 1979年 (株)マカンが建築設計事務所(東京) 勤務
 1980年 (株)鷺建築設計事務所(仙台) 勤務
 1983年 ササキ設計室 開業
 1990年 (有)ササキ設計 設立
 1999年 「杜の家づくりネットワーク」 設立

<主な受賞歴>

2004年 宮城県木造住宅コンクール 優秀賞
 2005年 宮城県木造住宅コンクール 優秀賞
 2006年 宮城県木造住宅コンクール 特別賞



キッチンから水まわりへの動線は一直線に配置され、利便性に富んでいる



2階のファミリールームから子ども室方向を見る。屋根なりの空間がのびやかな暮らしを彩る

DATA

宮城県仙台市・Nさん宅
 家族構成 / 夫婦50代、子ども1人
 設計 / (有)ササキ設計 佐々木 文彦
 ☎022-268-6578
<http://www.sasakisekai.co.jp/>
 E-mail sasaki@sasakisekai.co.jp
 施工 / (株)クレア平塚
 ☎0228-45-1568
<http://www.crear-hiratsuka.com/>

■建築データ

構造規模 / 木造・2階建て、延床面積 / 149.41㎡ (約45坪)
 <主な外部仕上げ> 屋根 / ガルバリウム鋼板、外壁 / 漆喰塗、
 建具 / 玄関ドア : 木製、窓 : アルミ断熱サッシ (Low-E ガラス)
 <主な内部仕上げ> 床 / 1階 : ヒノキ板本実張、2階 : スギ板
 本実張、壁 / 漆喰塗 一部スギ板縦張、天井 / スギ板本実張・梁
 組共現し
 <断熱仕様> 基礎 / ポリスチレンフォーム 30mm (土間・外
 周??)、床下 / セルローズファイバー 100mm、壁・天井・屋根 /
 フォレストボード 50mm
 <暖房方式> 蓄熱暖房 (3カ所)

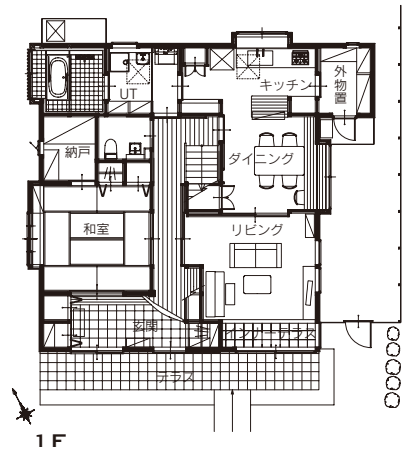
■工事期間 / 平成20年12月～平成21年4月 (約5ヵ月)
 ■工事費用 / 約??万円



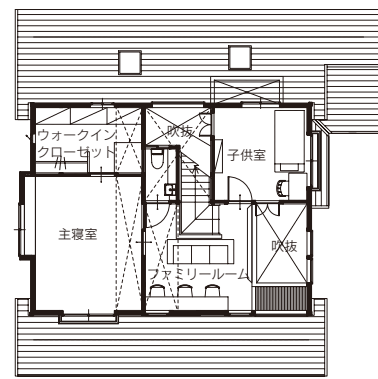
2階ファミリールームの全景



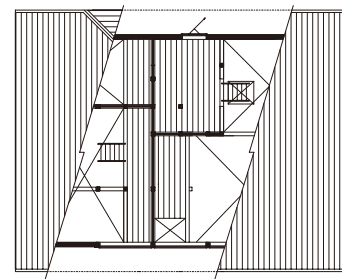
吹き抜けのリビング。構造の力強さがそのまま、暮らしてを暖かく包み込んでくれる



1F



2F



ロフト